



『We 鏡中』

令和7年 4月17日

☆≡「テストは続く…」



左の写真は、4／8に実力テストを受験している様子です。一生懸命問題に向き合っていました。義務教育を終える段階で受検というハードルがあることは、一定の意味があると私は考えています。少子化の影響も有り、この地区の県立高校全体の実質倍率は1倍を切る状況です。それでも自分の進みたい進路に向けて進路先を選択し、受検し、自分の進路を切り開きます。自分で選択し、自分で決めるということで、自分の人生に責任を持つ第一歩になると考えています。どんな

進路選択になるにせよ、「よしここで頑張ろう」という納得できる進路選択でなければなりません。保護者の皆様と協力し、教職員がそのお手伝いをします。不安なことがあれば、担任や進路担当にご相談ください。

4／14には、全国学力学習状況調査の意識調査と理科のテストが CBT (Computer Based Testing) で実施されました。意識調査では通信状況が不安定でしたが、クラス毎に実施した理科 CBT は通信状況も改善し、1人1台タブレット端末を使用し、問題に向き合っていました。

4／17の今日は、3年生が全国学力学習状況調査の国語・数学の PBT (Paper Based Testing)、2年生は佐賀県学習状況調査の国語・数学・英語の問題 (PBT) に取り組みました。(右の写真は今朝の様子)



入試やテストでは点数がついて回ります。私は、テストでとる点数を財布の中のお金に例えて話をしていました。財布に1万円入っている人は、フランス料理のコースでも注文して食べることができるし、100円のお菓子も食べることができます。財布に100円入っている人は、100

円以下のお菓子しか食べることができません。テストでとる点数は、財布の中のお金と一緒に。

自分の進路を自分で選択できるように、財布の中にお金(テストの点数)を貯める努力をして欲しいと思います。

どんなにかわいい我が子でも、勉強だけは代わってやることはできません。努力したこと、苦労したことしか身につかないことは、私自身もですが、おそらく保護者の皆様も、身をもって実感されていると思います。

しかし、努力し、苦労して身につけた知識や技能、知恵は、一生の財産になります。お金や物は奪われることがあっても、努力し、苦労して身につけた知識や技能、知恵は、誰からも奪われません。

保護者として、教職員として、人生の先輩として、どんな形でも良いので、その事を伝えることが必要だと思っています。保護者の皆様からお子様には是非お話しされてください。